

## 第2回

# クリニカルバイオバンク研究会 シンポジウム

2016年7月23日(土)、24日(日) 北海道大学医学部学友会館フラテ 大ホール  
(〒060-8638 札幌市北区北15条西7)

### 【会長挨拶】

謹啓 この度、第2回クリニカルバイオバンク研究会シンポジウムを、平成28年7月23日(土)・24日(日)の2日間の日程で、北海道大学医学部学友会館 フラテにて開催させていただくことになりました。

ゲノム医学の飛躍的な発展により、研究的なニーズに加えて臨床現場で最先端の解析機器を用いた遺伝子解析を行い、診断・治療に必要なデータを抽出するクリニカルシーケンスの確立が急務の課題となっています。そのためには、「診療情報と直結した生体試料の確保」と、「生体試料の合目的な高い品質管理」が必要であり、「迅速かつ少数検体の解析を行い、診療へフィードバックする」ことが求められます。クリニカルバイオバンク研究会は、Translational Research Laboratoryとしての機能を持ち、診療現場のリクエストに応えることが出来る「診療施設併設型バイオバンク」という新たなバイオバンクのコンセプトを打ちだし、平成27年4月より活動を開始しました。

当研究会では、バイオバンク部会、クリニカルシーケンス部会及びネットワーキング部会を設置し、部会ごとにSOPの策定や臨床実装に向けての支援を行っています。また、バイオバンク及びクリニカルシーケンスに関するシステムや技術についての最新の情報交換の場を提供することを目的として、昨年10月に第一回シンポジウムを開催致しました。200名を超える参加者が集い、協賛・展示企業も40社を超え、この分野への注目の高さや参加者の熱意を感じる事が出来ました。

今年の第二回シンポジウムでは、「バイオバンクの社会実装とクリニカルシーケンスの臨床実装」をテーマとして、問題点の整理と解決策を見出すことを目指します。シンポジウムを盛り多し、この分野を発展させるためにも、生体試料のバンキング及び臨床研究、そしてクリニカルシーケンスの実装に関わる多くの研究者並びに企業関係者の御出席を賜ることができましたら幸甚に存じます。

敬具

平成28年5月吉日

大会長 西原広史 (北海道大学病院 臨床研究開発センター 生体試料管理室 特任教授)

### 【プログラム】7月23日(土)

9:00~	●開会の挨拶 (寶金 清博 北海道大学病院長)
9:05~10:35	●セッション1 「がんクリニカルシーケンスの臨床実装」 --- 休憩 ---
10:55~11:55	●セッション2 「がんクリニカルシーケンス後の治療対応」(パネルディスカッション)
12:00~12:45	●ランチョンセミナー (別会場:フラテ150名、整理券配布)
13:00~14:15	●セッション3 「バイオインフォマティクスの臨床応用に向けて」 --- 休憩 ---
14:30~15:30	●特別講演 「ヨーロッパのバイオバンクの現状」 ESBB president; Dr. Eric Steinfielder
15:30~17:00	●セッション4 「バイオバンク標準化と企業利用に向けて」
17:00~18:00	●展示、企業セミナー、北大バイオバンク見学会①
18:15~20:00	●GALA Dinner (大学構内ファカルティハウス エンレイソウ エルム 100名 懇親会費 3000円)

### 【プログラム】7月24日(日)

9:00~10:15	●セッション5 「バイオバンクの倫理と同意取得の在り方」 --- コーヒーブレイク ---
10:30~12:00	●セッション6 「バイオバンクの運用とネットワーク化」
12:00~	●閉会の挨拶 (佐藤 典宏 臨床研究開発センター長)
12:15~13:00	●北大バイオバンク見学会②

参加費

3,000円

事前参加登録

【記載項目】を本文に記載し、電子メールまたはFAXで下記事務局に送信してください。※件名を「事前参加登録」としてください。【記載項目/氏名・氏名ふりがな・所属・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス・懇親会への参加の有無】【受付締切/2016年7月8日(金) 正午】

運営事務局

第2回クリニカルバイオバンク研究会 シンポジウム 運営事務局(株式会社 ジー・プロモーション)

〒065-0010 札幌市東区北10条東2丁目3-18 三上ビル2階

Tel:011-768-7814 Fax: 011-768-7804 E-Mail: cbs2016@g-promotion.com

<http://www.clinicalbiobank.org/sympo2016/index.html>